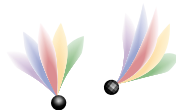


丹南農林だより

謹んで新春のお喜びを申し上げます



管内の農園で作られた
わら細工の干支の置物

皆様にはご家族おそろいで希望あふれる晴れやかな新年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。昨年一年間、丹南地区の農林事業の推進にあたりまして、深いご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

さて、県の「福井新元氣宣言」のひとつにあります「元氣な産業」を着実に実現していくため、当事務所としましては、「企業的な農業を担う経営体の育成」や「コシヒカリの高品質・大粒化」、「地域農産物や水仙のブランド化の促進」、全国植樹祭に向けて、学校や公民館で木の良さを学ぶ「木工教室の開催」や「企業の森づくりの推進」、「農地・水・環境保全対策の推進」など各種事業を行ってまいりました。

また、農業農村整備におきましては、一般農道整備事業およびふるさと農道緊急整備事業「池田東部地区」や、地域用水環境整備事業「石田三ヶ用水地区」が完成するなど、着実に生産基盤整備を行うと同時に、併せて環境にも配慮した整備を進めております。

本年は、6月7日、福井市一乗谷朝倉氏遺跡において開催される第60回全国植樹祭に向けて、県民運動をさらに進めてまいりたいと考えております。

本年も昨年も増して管内の市町、関係諸団体、生産者の皆様と連携を密にして、新しい知恵と創意工夫により各種施策を着実に推進していくことが重要であると考えておりますので、一層のご協力をお願い申し上げます。

年の初めにあたり、皆様のご健勝とご活躍を祈念いたしまして、新年のごあいさつといたします。

丹南農林総合事務所 職員一同

● 消費者の安全・安心に応えます ●

(有)ほっと今庄

「県下初、菓子製造施設で 福井県食品衛生自主管理プログラム制度の認証を受けました」

消費者の食に対する安全・安心への関心が高まっています。このような中、南越前町の農村女性起業グループ「(有)ほっと今庄」が、菓子製造の自主的な衛生管理について、県が定める基準を満たした施設を認証する「福井県食品衛生自主管理プログラム制度(HACCP)」の施設認証を受けました。昨年のめん製造加工施設とそうざい加工施設に続き、3つ目の認証取得となりました。

一般的な衛生管理に加え、食品の製造工程において発生する恐れのあることを検討し、発生を防ぐための方法を決めて継続的にチェックしていくことで、安全な食品づくりに努めるものです。

「企業の大小ではなく、メンバー全員の衛生面への意識を高め、今後も消費者に安全で安心な商品を届けるため頑張っていきたい。できれば調理部門の認証も取得したい」と川淵代表は意欲的に語っていました。



丹南農林総合事務所

越前市上太田町41-5 TEL(0778)23-4545

丹生分庁舎 越前町内郡14-36 TEL(0778)34-1790

URL <http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/tan-noso/>

E-mail tan-noso@pref.fukui.lg.jp

平成21年1月1日

No.27



健康長寿の福井

県営一般農道整備事業／県営ふるさと農道緊急整備事業 池田東部地区 竣工

昨年10月、今立郡池田町において実施してきました、県営一般農道整備事業および県営ふるさと農道緊急整備事業池田東部地区が竣工しました。

本地区農場は平成6年に公社営畜産基地建設事業により整備されましたが、未舗装道で幅員も狭く、加えて、急勾配で急カーブが続く道路であったため、生産物の運搬速度が遅く、荷痛みも激しいことから、農業や畜産を営む方々は大変な苦勞をしておりました。そこで、農畜産業の活性化を図るため、本事業により線形を見直し、幅員の拡幅と全線を舗装してきました。

本地区の終点付近は、県内有数の紅葉スポットである部子山へつながり、すばらしい景観が広がります。



開 通 式



農 道

農事組合法人 ファームはぐりの紹介

農事組合法人 ファームはぐり(代表理事：増田良一氏 越前市余田町)は、平成20年2月に任意組合であった「はぐり営農協業組合」を発展させる形で設立されました。

組合員は40名で約48haの経営です。水稻作付けの54%を直播栽培としてコスト低減を図る一方、新規部門としてソバの特裁に取り組みました。本年はさらに特裁米の生産にも取り組む計画です。米でのエコファーマー申請を予定しており、安全で安心な米づくりをしようと組合員一同意気込んでいます。



水仙球根改植ボランティア 「越前水仙花咲かそう大作戦2008」を実施

冬の越前水仙の咲き誇る景観を守るため、昨年6月15日(日)に密集した水仙の畑の球根を掘り起こし、改植する作業ボランティアを実施しました。県内125人の参加者を得て、越前町左右 水仙圃場 7アールの改植を行いました。参加者は水仙畑の急な斜面ですがすがしい汗を流しながら、農家の苦勞を分かち合っていました。改植した圃場は早くから開花が始まり改植の効果が明らかに表れています。



改植風景

昨年12月10日現在



改植した圃場
花が咲いている

改植なし圃場
密生して花ない

農畜産物を活かした加工品の商品化 開発から販売、プランの作成もお手伝いします！



受講生によるプランのプレゼンテーションとディスカッションの様子

新たに「食」と「農」に関連するアグリビジネスを目指す農業者を対象に、4回シリーズで講座を開催しました。アグリビジネスを展開していく上で必要となる知識や事業運営の座学に加えて、自ら事業構想の整理からプランの作成・発表までを行うことにより、プランを具体的に思考していただく機会を豊富に盛り込みました。

農畜産物を活用して魅力ある商品づくり、経営管理や新たな販路拡大など更なる経営の展開にあたっての必要な知識を、講師と受講者のディスカッションやプレゼンテーションを通じ、実践する力を養いました。

受講生が企画した商品が、市場に出回る日も近いと思います。

さらに県では、認定農業者や集落営農組織の方で、自ら生産した農畜産物を活かした加工技術の開発から販売までを支援しています。

対 象 者	集落営農組織、認定農業者
申請の流れ	農産加工ビジネスプランを作成し、農林総合事務所に提出します。 審査会で支援の採択決定後、農産加工ビジネスプランに基づく申請をします。
補 助 金 額	認定された農産加工ビジネスプラン達成に必要な経費の1/3以内で 1 経営体300万円まで
お問合せ先	丹南農林総合事務所農業経営支援部 TEL 0778-23-4545

20年度稲作の問題点解析と21年度対策について

20年度の南越産米の一等米比率はハナエチゼンで76%、コシヒカリで69%、イクヒカリで74%であり、ハナエチゼンは斑点米、コシヒカリは乳白米、胴割米、イクヒカリは胴割米が品質低下の原因でした。21年度は品質向上のため、下記の点に注意して栽培しましょう。

1 作土深

作土が浅い水田では乳白米、胴割米による品質低下が、毎年認められます。耕うんをゆつくりと行い、深く耕すことが品質向上に必須です。

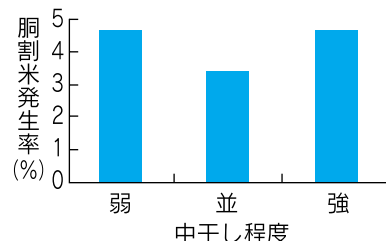
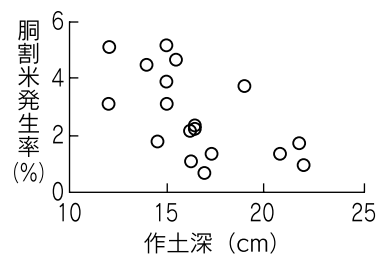
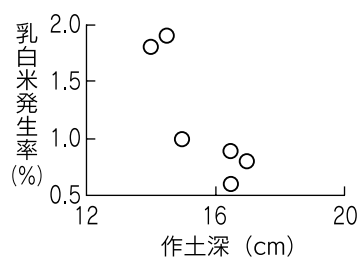
2 中干し

中干しをしなければ品質が低下する大きな原因になっていますが、中干しが強すぎる圃場でも品質低下が生じています。「幼穂形成期に足が沈まない程度」が、適度な中干しですので、注意して行いましょう。

3 斑点米対策

20年度は、水田内に雑草が多く見受けられました。また、大麦後圃場の耕うんや、除草の遅れも目立ちました。斑点米防止には

“カメムシ防除薬剤を適正に使用する”だけでなく、“水田内、畦畔、大麦後の除草”も非常に重要です。



◆平成20年に表彰を受けられた方々

全国表彰おめでとうございます

- 農山漁村いきいきシニア活動表彰優秀賞
(林野庁長官賞 山村地域部門)
宮崎旬生産部会会長 中西 淳一(越前町)
- 農林水産省農村振興局長賞
(土地改良事業地区営農推進優良事例表彰)
農事組合法人 ファーム東陽(鯖江市)
- 美の里づくりコンクール
(農林水産大臣賞)
越前市安養寺町
- 山林種苗等生産事業功労者
(林野庁長官賞)
渋谷 秀志(越前市)
- 造林コンクール
(林野庁長官賞)
菅原 善麿(越前町)
- 原木しいたけ生産者大会優良事例
(全国食用きのこ種菌協会会長賞)
姉崎 敏明(越前町)

- 越前たけふ農業協同組合農林産物品評会(知事賞)
紙屋 仲左衛門(越前市)
- 武生菊花コンクール(知事賞) 中西 勇(越前市)
- 福井県自然薯品評会(知事賞) 富永 孝(池田町)
- つるし柿品評会(知事賞) 中沢 茂(南越前町)
- 野菜バスケットコンクール
前川 てる子(越前市)
- 森林国営保険事業尽力者 玉村 俊智(越前市)
- 造林コンクール(知事賞) 中川 彦志(越前市)
- 国土緑化運動標語(特選) 宮崎 雅也(越前町)

◆平成20年丹南農林管内トピックス

5年ぶりに南越地区で献穀
献納。 [米:南越前町]
[粟:鯖江市]

(有)ほっと今庄が3部門(めん
製造加工、そうざい加工、
菓子製造)でHACCP取得。

県特別栽培農産物、エコファ
ーマーが今年も増加、昨年比
の6割増。

丹南地区青年農業者クラブ
設立。

全国植樹祭プレイベント
林道ウォーク&マラソンを南越前町(今庄365スキー場)で開
催。全国植樹祭に向け、小、中、高校でプランターカバーづく
りなど、森に親しむ授業を展開。

南越前町と越前町で「企業
の森」を制定する協定を締結。

池田東部地区の農道が完成。

乙坂今北地区の農地水関係
組織と県営事業が連携して、
お魚調査を実施。

農林総合事務所の統合により、名称が丹南農林総合事務所に変
更となる。



新聞やテレビで、県の情報をキャッチ！

- 新 聞 「県からのお知らせ」(毎月1日、15日掲載 福井新聞、日刊県民福井)
- テレビ番組 「おはようふくい730」(FBC/日曜7:30~8:00)
「ほっとふくい」(福井テレビ/1・3土曜17:15~17:30)
「まちかど県政」(FBC、福井テレビ/日曜)
- 広 報 誌 「グラフふくい」(毎月10日発行)

※ラジオやインターネットでも提供中

詳しくは、福井県広報課 TEL 0776-20-0220までどうぞ

林道マラソン&ウォーク in 南越前町が開催されました



平成20年11月9日（日）に南越前町（今庄365スキー場）にて「林道マラソン&ウォークin南越前町」を第60回全国植樹祭の関連イベントとして開催しました。

マラソンの部は13kmで129名、ウォークの部は5kmで194名と、県内外から大変多くの方々に参加いただきました。特に林道マラソンにおいては、県内初の開催ということでしたが皆さん元気に完走することができました。参加者のアンケートでは、「県内ではアップダウンの激しいマラソン大会は無いため面白かった」や「紅葉がキレイで楽しかった」など、大好評でした。



林道マラソン



林道ウォーク

「企業の森づくり」が管内に2箇所設置されました

本年6月7日に福井市（一乗谷朝倉氏遺跡）で開催が決定した「第60回全国植樹祭」に向け、県民運動として「企業の森づくり」を呼びかけています。

企業の森づくりは、環境に理解のある企業が社会貢献活動として参加希望する森林整備に対して、県が市町公有林など可能な場所をあっせんし、地域との交流活動も進めながら、ふるさとの森づくりのパートナーとして参画していただくものです。

管内では、平成20年10月18日「北陸電力株式会社」が南越前町阿久和・中小屋（杣山の森）において水源の森となるブナやトチノキなど5種類を植栽し、11月26日「株式会社平和堂」が越前町小倉（泰澄の杜）において地球温暖化防止に向け桜の大苗を植栽して、それぞれ企業・町・県の三者が立合いのもと森林整備の協定式を行いました。



北陸電力株式会社：杣山の森



平和堂：越前泰澄の森

ほたるの里の秋を満喫!!

(20年11月16日開催)

越前町八田集落の自然や農業に親しんでいただく農業体験ツアーの2回目として、“ほたるの里★八田 秋満喫体験ツアー”が開催されました。

秋の水田の生き物を観察したあとは、集落内散策やクラフト体験メニューに、めいめいの好みに応じて自由に参加してもらいました。昼食は、越前「たんぼの天使」有機の会代表の井上幸子さんが栽培したぴかぴかの新米と、八田集落でとれた有機野菜たっぷりの豚汁。また、前田稔さんのこだわり卵も用意し、たまごかけご飯を何杯もおかわりする参加者も見られました。

締めくくりに、八田区の協力により福井県の無形民俗文化財に指定されている「八田の獅子舞」が披露され、間近で見る獅子舞の迫力と、農村の伝統文化のすばらしさ、それを守り続けてきた農村の力に、圧倒されるひとときを過ごしました。



“たんぼの生き物”観察



クラフト体験(土鈴づくり)



勇壮な“八田の獅子舞”

2008丹生ふれあいまつり

(20年11月14日開催)

秋晴れのもと、越前町の丹生分庁舎で、恒例の「丹生ふれあいまつり」が開催されました。

会場では元気な農林漁業者が持ち寄った自慢の農林水産物が即売されました。地元の米や野菜のおいしさを知ってもらうため“つきたてもち”や貝たくさんさんの“ふるまい鍋”を来場者に無料で提供し、生産者と消費者とがふれあいながら親交を深める一日でした。



あつあつのつきたてもち



新鮮とれたて野菜即売



ふるまい鍋



木工教室

福井県特別栽培農産物認証申請書の受付について

～本年度の実績書の提出も忘れずに～

福井県特別栽培農産物認証にかかる申請について、下記のとおりとなっていますので、申請を予定されている方はお早めにお申込みください。

なお、本年度（平成20年度）取り組まれた方は、実績書の提出もお願いいたします。

申請受付期間（予定）

◎第1回申請期間：1月5日(月)～1月30日(金)

申請対象作物：水稲、大豆、雑穀、春・夏野菜、果樹、精米、小分け

○第2回申請期間：6月1日(月)～6月30日(火)

申請対象作物：麦、そば、秋冬野菜、精米、小分け

※次年度(平成21年度)、農地・水・環境保全向上対策(営農活動支援)に取り組まれる方は、県特裁の申請忘れの無いようご注意ください。